

東北小だより

平成22年4月8日号
新座市立東北小学校
児童数713名

教育目標「なかよく元気な子 よく考える子 すすんで働く子」

平成22年度の出発にあたり

校長 藤山 孝敏

東北小学校の桜やピオラ、1年生の育てたチューリップなど様々な花が、色鮮やかに咲き誇る季節の中で、平成22年度がスタートいたしました。**ご入学、ご進級おめでとうございます。**

今年度は新入学児童108名を迎え、22学級713名の児童、教職員56名での出発となります。教職員一同、学校教育目標「なかよく元気な子」「よく考える子」「すすんで働く子」の実現に向け、精一杯取り組んでまいりますので、昨年に増してより一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、今年度の学校経営の一端をお伝えいたします。キャッチフレーズを昨年に引き続き、「笑顔がいっぱい東北小学校」とし、基本方針を『21世紀は、新しい知識、情報、技術が政治、経済、文化をはじめ、社会のあらゆる領域での活動の基盤として重要性を増す、「知識基盤社会」の時代と言われている。このような中で、子どもたちには、一人ひとりの良さを見出し、伸長することを基本におき、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」をはぐくむことを重視していく。教職員は、一人ひとりが教育公務員としての誇りを持ち、組織の一員としての自覚を持って職務を遂行する。また、保護者、地域の信頼に応えるために、自己の資質と可能性を高め、英知と汗を出し合い明るい学校を作っていく。そして、学校は、喜んで登校してくる子どもたちを温かく迎えるという「笑顔がいっぱいの学校」作りを推進する。』としました。

また、「目指す学校像」を、①子どもが落ち着いて笑顔で学べる学校②保護者や地域から笑顔が生まれる学校③清潔で環境豊かな学校④教職員が笑顔で磨き合える学校の4点を掲げました。合わせて、学校教育目標から「目指す児童像」を次のように設定いたしました。

- 【なかよく 元気な子】**
- ・優しさと思いやりのある子
 - ・時と場に応じて丁寧な言葉がつかえる子
 - ・豊かな心とたくましい子
- 【よく考える子】**
- ・知ろう、学ぼうとする意欲のある子
 - ・学習の方法がわかり、粘り強く課題を解決する子
 - ・善悪の判断ができ、勇気を持って行動できる子
- 【すすんで働く子】**
- ・人のために働くことを喜びとする子
 - ・自分から進んで奉仕する子
 - ・勤労の大切さ、尊さがわかり、感謝する子

「目指す学校像」「目指す児童像」を常に念頭に置きながら教育活動に取り組んでまいります。特に今年度は、昨年から引き続き「丁寧な言葉遣い」と、新たに勤労の大切さ、尊さの視点から「清掃指導」に力を入れてまいります。

今年度も、全職員が一丸となって子どもたちを教育してまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

東北小だより

平成22年4月30日号
新座市立東北小学校
児童数712名

教育目標「なかよく元気な子 よく考える子 すすんで働く子」

よき出会い

校長 藤山 孝敏

東北小学校の樹木に新緑が映える季節となりました。過日の授業参観、懇談会にはご多用の中、ご来校いただきありがとうございました。新しい担任との出会いはいかがだったでしょうか。それぞれの担任は、大切な子どもたちのために職務を遂行してまいりますのでご協力くださるようお願いいたします。

さて、新学期が始まり1か月が経とうとしています。子どもたちは、新しい教職員、新しい友だちと出会い心新たな気持ちで学校生活を送っています。しかし、4月後半から5月にかけては心身ともに疲れが見える時期でもあります。このような中、4月26日(月)、27日(火)は欠席児童が多く心配しましたが、28日(水)に少なくなり安心したところです。ご家庭でも連休中の健康管理にご配慮頂きますようお願いいたします。また、交通事故、不審者等の事故に遭わず安全に過ごせるよう指導しますが、ご家庭での指導をお願いいたします。

過日、昨年度まで東北小に勤務していた教職員とのお別れの式である離任式が行われましたある教職員の話の中に、「多くの人と出会い、別れる中でいろいろなことを学び、成長して行ってください。」という言葉があり、この言葉から次のような文章を思い出しました。「出会いというのは、無数のすれちがいのなかから、わずかにひとつだけ、特別に与えられる恩恵であろう」—小原 信 (出会いの人間学) 出会いは人に限らず、本や自然、植物など私たちをとりまくすべてが対象となります。また、ただ通り過ぎるだけの出会いから自分が変わる出会いもあり、人はどのような時期に誰に出会ったかで、人生が大きく変わることがあるとも言われます。私ども東北小学校に勤務する教職員は、子どもたちとの出会いがよい出会いになることを信じ、子どもたちと強い絆で結ばれるために、さらに、保護者、地域の方々から信頼が得られるよう仕事をしてまいります。

離任式は、子どもたちの素晴らしい歌声で終了しました。

5月7日(金)は、P T A総会が開催されます。今年度、P T Aの役員をお引き受けいただいた皆様、貴重な時間を東北小のために捧げていただき感謝申し上げます。また、昨年度P T A役員でご尽力いただいた皆様、今までのご労苦に厚くお礼申し上げます。当日は、多くの皆様のご出席をお待ちしております。

結びになりましたが、この1か月の学校生活で、気がかりな様子がありましたら、10日(月)から始まる家庭訪問で担任にお話してください。また、学校では担任をはじめとし、「子どもと親との相談員」等がいつでも相談を受けられるようにしてありますので、遠慮なくご連絡ください。

東北小だより

平成22年6月1日号
新座市立東北小学校
児童数713名

教育目標「なかよく元気な子 よく考える子 すすんで働く子」

絆を深める

校長 藤山 孝敏

東北小学校の樹木の青葉が深まる季節となりました。学年園では4年生のヘチマ、5年生のインゲン、6年生のジャガイモが、水田では5年生の稲が、学校教育農園では1・2年生のサツマイモ、3年生の枝豆やオクラが、陽射しを浴びながら育っています。これらの作物を植えるにあたっては、農業支援員の神谷俊雄様、シルバーパトロール隊の広田春夫様にご指導いただきました。また、1・2年生は植木鉢の朝顔やミニトマトに声をかけながら、毎朝水やりをしています。

全校遠足は子どもたちの願いが叶い、天気にも恵まれました。広々とした樹林公園の中で、子どもたちは鬼ごっこ、ボール遊び、シロツメ草を摘み、飾りを作るなどの遊びに興じ、教職員も子どもたちと一緒に時間を楽しんでいました。高学年はバスの中、遊びの時間、オリエンテーリングの実施、食事の時など低学年に気遣いながら行動していました。特に、最高学年の6年生には、様々な場面で優しさと頼もしさを感じました。このことから、今後の学校生活では、上級生と下級生がふれあい、絆を深めていくのではないかと期待しています。

本校は、豊かな心の育成のために、研究主題を「かかわり合い 絆を深め 子どもの心に響く 道徳教育をめざして」として、「道徳教育」の研究をしています。昨年は、教育週間で全担任が道徳の授業を公開いたしました。今年度も実施する予定です。

なお、研究主題の「かかわり合い」は人と人との関わり、コミュニケーション能力の育成をめざしてありますので、全校遠足での高学年の行動は、道徳教育の実践化につながっているものだと思います。ご家庭でも道徳の授業を話題にいただければ幸いです。

このように子どもたちの行動に変容が見られる反面、残念な電話をいただくこともあります。それは、「道路で、ボールをけて遊んでいる。子どもたちの声やボールの音が大きくて、具合が良くないのに静かに休めない。注意しても言うことを聞いてくれない」という内容です。どこの道路なのか、場所は特定できませんが、場所や状況を考えて行動することは大切なことです。特に道路で遊ぶことは、交通事故に遭ったり、車を傷つけてしまったりすることにつながります。また、病気で寝ている人のことを考えるのは、思いやりにつながります。学校としては、「交通安全」と「思いやり」の観点から指導してまいりたいと思います。ご家庭でもご指導よろしくお願い致します。「優しい言葉をかければ、信頼が生まれる。相手の身になって考えれば、結びつきが生まれる。相手の身になって与えれば、愛が芽生える」老子（中国春秋時代の思想家）という言葉があります。

結びに、家庭訪問では、貴重な時間をいただきました。おかげさまで、今まで以上に子どもたちのことを知る貴重な機会となりましたことに感謝申し上げます。

東北小だより

平成22年7月1日号
新座市立東北小学校
児童数715名

教育目標「なかよく元気な子 よく考える子 すすんで働く子」

多くの支援に感謝して

校長 藤山 孝敏

東北小学校の正門、裏門、校庭にはぴかぴか隊の皆さんと栽培委員会の子どもたちが植えたサルビア、日々草等の花が綺麗に咲き、登校する子どもたちを迎えています。1年生の朝顔も花を咲かせ、2年生のミニトマト、4年生のヘチマ、5年生の稲も大きくなりました。5年生のインゲンと6年生のジャガイモは収穫の時期を迎えます。学校教育農園では、1・2年生のサツマイモ、3年生のオクラ、枝豆が順調に育っています。

今月は、6日(火)、7日(水)、9日(金)に授業参観・懇談会があります。子どもたちの成長と懸命に取り組む姿をご覧いただくために、ご出席いただければ幸いです。

担任をはじめ、教職員一同、皆様のご来校をお待ちしております。なお、その際に道德教育に対してのアンケート調査をお願いいたします。本校は昨年より道德教育の研究を行っており、昨年度、子どもたちの実態把握のためにアンケート調査を実施しました。

今年度は、さらに研究を深めていくために、保護者の皆様にもアンケート調査をお願いすることにいたしました。何とぞご協力のほどよろしくお願いいたします。

本年度は、重点目標の一つに「清掃活動」をあげ、取り組んで参りました。家庭での取り組みが学校で発揮され、学校での取り組みが家庭でも発揮されることが望ましいことだと思います。作家の曾野綾子さんの文に、「子どもは一方的に庇護され、受ける立場をとり続けるが、少し大きくなると、家事を手伝うたり、重たいものを持ったりして、親や弱いものを庇護するようになる。それが一人前の人間の証拠である。」とあります。

学校での清掃活動は、家庭での家事ととらえ、家族のために役に立つお手伝いをさせてほしいと思います

さて、夏休みは、お子さんを家庭へお返しすることになります。長期の休みでなければ出来ない体験を積みかせてください。また、お子さんと向かい合う時間を設け、新たな良い面を発見し、さらに伸ばしていただけたら幸いです。家庭での自分の役割を理解し、手伝いを行うこと、プール指導への参加、各種コンクールへの応募など、自信につながる経験を多く積みかせてあげてください。工学期の始業式には、事故、事件に遭うことなく元気で登校する子どもたちを待っております。

一学期を終えるにあたり、シルバーパトロール隊の河野様、内橋様、近藤様、左川様、佐藤様、高橋様、中村様、長谷部様、広田様、山本様には、登下校指導や校内の見回りをしていただきました。また、PTAの役員の皆様、防犯パトロールの皆様、ぴかぴか隊の皆様、おはなしよむよむの皆様、アルミ缶の回収にご尽力いただいた皆様、登下校に合わせてパトロールをしてくださいました地域の皆様、農業支援員の神谷様、環境ボランティアの石塚様、川村様には、それぞれの立場でお力添えをいただきました。改めまして、一学期間のご支援とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

笑顔がいっぱい

東北小だより

学校教育目標

- ・仲よく元気な子
- ・よく考える子
- ・進んで働く子

平成 22 年 7 月 20 日 7 月 夏休み号 新座市立東北小学校 TEL048-471-2022

さあ、夏休み！

明日から子どもたちが楽しみにしていた夏休みが始まります。夏休みは、子どもたちを猛暑から守るだけでなく、家庭や地域の中でなければできない様々な学習や体験をする絶好の機会です。

人とのふれあい、自然とのふれあい、本とのふれあい、家族とのふれあい、地域とのふれあいなどを通して、豊かな生活体験や活動体験をさせ、健康で心豊かに成長してほしいと願っています。

健康で安全な生活を

睡眠、食事、そして、規則正しい生活習慣は「心身の健康の源」です。お子さんと生活時間や約束ごとを確かめ合って、健康で安全な生活ができるようご指導ください。

交通事故防止

止まる（きちんと止まる） 見る（まわりを見る） 待つ（青になるまで待つ） 確かめる（安全を確かめる）

道路で遊ばない

道路でボール遊びはしない

非行防止

遊びに行くときの約束の確認

不審者事故防止

知らない人にはついていかない 不審電話にはこたえない 暗いところを歩かない

事故・事件があった場合の連絡先 新座警察署482-0110 志木南口交番473-2011

お知らせ

夏休みの間は、水泳指導や補習など、教員の指導に基づく場合の他は、原則的には校舎内や教室には入れません。特に必要な場合がありましたら職員室の職員にお声がけください。 学校 471-2022

9月初めの行事予定

- 1日（水）第2学期始業式
緊急下校訓練
- 2日（木）短縮授業3時間
- 3日（金）給食開始 平常日課

緊急下校訓練（引き渡し訓練）

- 9月1日（水）
- 集合：午前11時10分
- ※10：00から携帯メール等を使った連絡訓練を行いますが、連絡の有無にかかわらず、集合時刻までにはご来校ください。

校庭開放について

- 本校の校庭は、土曜日・日曜日には、市規則により登録された学校施設利用団体に開放されています。
- 土曜日 13：00～17：00 野球
- 日曜日 7：00～17：00 ソフトボール・野球

東北小だより

平成22年9月1日号
新座市立東北小学校
児童数716名

教育目標「なかよく元気な子 よく考える子 すすんで働く子」

二学期も笑顔がいっぱいの東北小

校長 藤山 孝敏

東北小学校の子どもたちが、様々な体験を積んで登校してきました。今年は例年になく暑い日が続きましたが、第2学期の始業式を大きな事件、事故に遭うこともなく迎えることができました。これもひとえにご家庭でのご指導、地域の皆様が見守り、ご指導いただいたおかげと感謝申し上げます。

さて、学校では夏休み中に「補習学習」「プール指導」「初心者水泳教室」「4年生の自転車免許教室」「5年生の林間学校」「図書室の開放」を行いました。また、PTA主催では6日間の「ラジオ体操」を実施しました。

教職員全員で行った夏休みの研修は、次のとおりです。新学習指導要領全面実施を踏まえた、「小学校教育課程説明報告会」、道徳の「環境、調査、教材研究」、中学校生活を視野に入れた「小学校での生徒指導」、校内作品展実施にあたっての「図画工作」、児童虐待を始めとする様々な差別を考える「人権教育」、不審者から子どもたちを守るための「不審者防犯」等です。

教職員が個人で行った研修は、県や市の主催する「道徳教育」「英語活動指導力向上」「福祉教育」「書写教育実技」「情報教育実技」「幼保小連携」「社会貢献活動体験」「各教科領域」等です。このように、それぞれの研修会に参加し指導方法等を学びました。

東北小学校は、夏休み中も多くの皆様に支えていただきました。図書室開放にご尽力いただきました「おはなしよむよむ」の皆様、ラジオ体操の開催にご尽力いただきましたPTA役員の皆様、学校教育農園の除草をしてくださった該当学年の皆様、校内の除草などに尽力いただきました環境ボランティアの石塚様、川村様、暑い中を労と時を捧げていただきましたことに感謝申し上げます。また、8月29日（日）には、東北ジャイアンツを始め、校庭開放利用団体の皆様が、校庭への土入れ、溝掃除、除草など校庭整備を実施していただきました。なお、この作業は毎年実施していただいております。重ねてここに深く感謝申し上げます。

今年は、立秋を過ぎても暑さが続いていますので、秋季大運動会に向けての練習は熱中症に配慮してまいります。子どもたちは日々成長しておりますが、2学期も毎日の授業を充実し、秋季大運動会、校内作品展、校内持久走大会などの行事を通して、子どもたちに自信と笑顔があふれるように教職員一同力を尽くしてまいります。保護者並びに地域の皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

なお、秋季大運動会では多くの皆様に子どもたちの笑顔をご覧いただければ幸いです。ご来校をお待ち申し上げます。

東北小だより

平成22年10月1日号
新座市立東北小学校
児童数717名

教育目標「なかよく元気な子 よく考える子 すすんで働く子」

秋季大運動会を終えて

校長 藤山 孝敏

東北小学校の職員室前には、赤や自の彼岸花が鮮やかに咲いています。さて、運動会は前日から降り続いた雨が明け方も止まず、校庭が不完全な状態で実施できるか不安でした。しかし、保護者の方のご協力により校庭整備が早い時間で終了し5分遅れで開会することができました。ご協力いただいた皆様に教職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

東北小は昨年より道徳教育の研究をしています。今年度は、道徳教育だよりを作成し研究の一端をお届けしています。鈴木健二氏の著書「道徳革命」に次のような文章があります。「子どもたちが社会を造っているのではない。現代社会は私たち大人が現実にも作りながら毎日を生きている。子どもたちはその中に生きさせられているのである。(中略)問題と答えはある。しかし式の立て方、つまり、心に至る具体的な方法がつかめないでいる。心は形にしないと理解不能の存在である。何かの行動をとらないと、他人には優しい人である事実が証明できない。この式を人間は『道徳』と呼ぶ。」皆様のご協力は、この文章のように心を形にさせていただいたものと受け止めています。

今年も皆様から、子どもたちに賞賛や励ましの言葉、声援をいただきました。「今年は、特に暑かったにもかかわらず、練習を頑張ったのですね。どの学年も素晴らしい演技です。」「係活動の子どもたちがよく働きますね。」「6年生の子どもたちがしっかりしていますね。」「見事な組体操でしたね。下になっている子がよく頑張っていました。」「一人一人が一生懸命走り、全力を尽くしたりレーでしたね。」

これらの言葉は子どもたちとつて大きな自信となります。感謝申し上げます。

今週から給食の時間に運動会のビデオが放送されています。子どもたちは、当日の演技や競技を思い起こすとともに、自分や友だちが全力を出している姿に感動を覚え、心の中で拍手を送っていることと思います。

また、今年の運動会は「全力を出し切る」というテーマの主旨を実行できたことはもちろんですが、一人一人の「絆」を深めた運動会でもありました。それは、学年の表現種目、団体種目をはじめ、応援合戦での協力と助け合いがあったこと。また、25分休みや昼休みの応援やリレーの練習で上級生が下級生に優しく教えている姿があったことです。これからの学校生活でも、子どもたちが教職員や友だちと絆を深め、さらに成長していくために力を尽くして参ります。

結びに、運動会を様々な役割で支えていただきましたPTA役員の皆様、参観いただきましたご来賓、保護者、地域の皆様、練習期間を含め、当日音響等にご理解いただきましたご近所の皆様、片づけを手伝っていただきました保護者の方にお礼と感謝申し上げます。

東北小だより

平成22年10月31日号
新座市立東北小学校
児童数716名

教育目標「なかよく元気な子 よく考える子 すすんで働く子」

ことばづかいは、こころづかい

校長 藤山 孝敏

東北小学校の体育館は、本日より始まる教育週間のときだけ「ひいらぎ美術館」となります。ここには、子どもたちが真剣に取り組んだ平面作品、立体作品が展示されています。お時間の許す限りご鑑賞ください。

先日、2つの学年で道徳の研究授業を行いました。2年4組は、「こまのプレゼント」の資料を用い、「友だちと仲良く助け合う」ことをねらいとした授業でした。

その中で、みんなで一緒に折り紙を折っているときの気持ちを考える場面がありましたが、「みんなで作ってうれしい」、「気持ちいい」という言葉の他に、「心が白くなる気持ち」という表現をした子がいました。この言葉から温かさを感じた職員の多くから、感嘆の声が漏れました。

さて、毛涯章平氏が次のような文を書いています。「かつゆき君が、ともだちと、川へサワガニをとりに行った。けれども、その日はどうしたことが、さっぱりカニがいなかった。いつもなら、きっと一匹や二匹はいるはずの石を動かしても、今日にかぎって、カニの姿は見えなかった。あそこには必ずいる、という彼の自慢の場所があった。急いでそこへ行くと、大きな石を「どっこいしょ」と動かした。水が少し濁って、それが流れて澄んでいくのを、じっと眺めていたが、どうしたことが、今日は、ここにもカニはいなかった。彼は、石をもとの場所にもどすと、ひとりごとを言った。「今日は、るすか」私は、この話を聞いて、かつゆき少年のことばに驚き、感動した。ただ、カニを取りにいっただけなら、「ちえっ」「なんだいないや」という言葉になったのではないか。カニに寄せる心づかいは「今日はカニ君どこかへ遊びに行っているのか」「それともおつかいに行っているのか」という気持ちになって「今日はるすか」というつぶやきになったのではないか。」このような文です。タイトルは、「ことばづかいはこころづかい」とついていました。

また、作者は誰か把握していませんが、「言葉は心」という詩があります。

一つの言葉で喧嘩して/一つの言葉で仲直り/一つの言葉で頭が下がり/一つの言葉で笑い合い/
一つの言葉で泣かされる/一つの言葉はそれぞれに/一つの心をもっている/きれいな言葉は/きれいな心/
やさしい言葉は/やさしい心/一つの言葉を大切に

胸を刺すような荒々しい言葉をなくし、心安らぐ言葉が飛び交う東北小にしたいと思っております。

教育週間は、各学級で道徳の時間も公開しております。2年目の研究成果をご参観いただければ幸いです。また、道徳の時間で学んだことが、学校だけでなく、家庭や地域で生かされるようになれば、三者の連携が一層強まります。言葉づかいはじめ、子どもたちが学校生活を過ごしている中での気づきの点を参観アンケートにご記入いただければありがたく存じます。ご来校をお待ちしております。

東北小だより

平成22年12月1日号
新座市立東北小学校
児童数717名

教育目標「なかよく元気な子 よく考える子 すすんで働く子」

学校公開週間のアンケートから

校長 藤山 孝敏

東北小学校の校庭では、銀杏や紅葉、桜などの落ち葉を環境ボランティアの石塚さんや川村さんがきれいに掃いてくださっています。その中で子どもたちは、持久走大会に向けて練習しています。きれいな環境を作ってください感謝申し上げます。

さて、学校公開週間では、多くの皆様にご来校いただき、参観アンケートにもご記入いただきありがとうございました。感想等をいただいた中で、成果と課題をいくつか報告します。なお、10項目の観点については、2学期最終号で報告いたします。

成果として評価をいただいたのは、「校内作品展の絵画、立体、彫塑作品」、「教室や校内の掲示物」、「清掃(昨年度と比較して)」、「教職員の熱心な指導」などです。

成果と課題の両方に評価が分かれたのは、「挨拶」、「話を聞く態度」、「授業中の姿勢(机やいすの問題も含めて)」、「授業の進め方」などです。

課題(施設設備面を含む)としては、「防犯」、「冷房機器の設置」、「トイレの改修(臭いも含めて)」、「右側通行の徹底」、「言葉遣いの指導」などです。

課題について、学校の取り組みと考えを述べます。「防犯」については、名札をつけていないというご指摘でした。公開週間にシールの名札を配布いたしました。剥がれたものと思います。普段は、名札をつけて来校いただいています。また、シルバーパトロール隊、PTAのパトロール、教職員の声かけで不審者から子どもたちを守っております。「冷房器具の設置」、「トイレの改修(臭いも含めて)」については、引き続き、市教育委員会にお願いしてまいります。なお、トイレの臭いの解消は、掃除の徹底と体に影響を及ぼさない消臭剤を利用します。「右側通行の徹底」については、生徒指導委員会で案を出しながら改善を進めていきます。「言葉遣いの指導」については、道徳の研究とも関連して、言われてうれしかった言葉、「ぼかぼか言葉」を各学級に掲示しています。今後も継続してまいります。なお、言葉で傷つくことが多くありますので、学校生活に関するアンケートを実施して、子どもたちの悩みの把握に努めます。いただいた参観アンケートの中に次のような文章がありました。

「11月の学校だよりを読んで思ったことです。子どもが低学年の時、『何?』と聞くと『人間』。『何しているの?』と聞くと『人間生活しているの』という受け答えがクラスで流行っていました。自分はきちんとした話をしたいのに、話を通じないのがとても嫌だったらしく、そういう言葉に対して自分で『なぐり言葉』と呼んでいたのを思い出しました。その言葉を聞くと人が傷つくという意味で使っていました。その時は、なるほどなあと感じさせられましたが、本人が意識しないで発した言葉が人を傷つけていることがあるということをもっと気にした方が良いと思いました。発した本人もそれで友人を無くしてしまうこともあると思うからです。最近、自分さえ良ければ良いと考える人が多いように思います。もっと他人に対して思いやりを持って欲しいと思います。(子どもだけでなく大人も)私も心安らぐ言葉が東北小に沢山飛び交って欲しいです。まずは、家庭から実践していこうと思います。『なぐり言葉』撲滅です。」

なお、参観アンケートの中には、「普段の言葉遣いや態度は、まず、家庭でしっかり指導すべきです」という言葉もありました。言葉で傷つく子どもたちもいますので、今後とも連携を図りながら進めていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

東北小だより

平成22年12月24日号
新座市立東北小学校
児童数717名

教育目標「なかよく元気な子 よく考える子 すすんで働く子」

第二学期のご支援に感謝して

校長 藤山 孝敏

東北小学校の樹木は冬木立となりましたが、正門の木蓮は芽を出し、水仙や椿は花をつけています。そして、校庭では子どもたちが縄跳びで汗を流しています。

さて、学校公開週間に実施したアンケート(学校評価)の集計ができましたのでお知らせします。

学校公開週間 参観アンケート

集計

No.	観点	←とてもそう思う		全くそう思わない→	
		4	3	2	1
		計	計	計	計
1	授業がわかりやすく展開されている。	297	249	15	0
2	授業では児童が学習規律を守って学習している。	216	285	59	2
3	授業では、児童が生き生きと活動している。	275	252	34	1
4	休み時間などには、児童がよく遊んでいる。	371	173	8	0
5	児童が、ルールを守って正しい言葉づかいをしている。	88	364	104	6
6	学校施設・設備が整っている。	75	310	160	18
7	学校は、安全や防犯に配慮している。	178	315	63	1
8	家庭のしつけが、学校教育に大きく影響している。	316	230	14	1
9	家庭や地域は、学校教育を理解し、協力している。	175	354	33	0
10	学校は、教育活動を積極的に公開している。	325	220	19	0

学校としては、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせて90%以上の評価をめざしています。しかし、90%を達成しているのは、「1」「3」「4」「8」「9」「10」の6項目で、「2」「5」「6」「7」の4項目は達成していません。また、昨年度と比較しますと、「1」「3」の項目は、1%上回っていますが、「2」は2%、「5」は3%、「6」は8%と下回っております。

昨年度を下回っている「6」の施設、設備面については、今後も学校でやれる所は取り組み、市教委に依頼すべき所は引き続き働きかけをしてまいります。重点課題は「5」ととらえています。ここでは、「ルールを守る」「正しい言葉遣い」の2つの観点で見ることになります。そして、「2」の学習規律とも関連し、廊下歩行、授業中の先生や友だちに対する言葉遣いなども関連していますので、しっかり身につけている子どもたちの把握に努めながら、指導してまいります。なお、昨年度より上回っていますが「7」の日常の安全、防犯については、常駐のシルバーパトロール隊の皆様をはじめ、休み時間に回ってくださいます、PTAパトロールの皆様にご尽力いただいております。今後とも、危険箇所、死角になっている箇所の点検を行い、子どもたちの安全確保に努めてまいります。

結びに、本日をもって第二学期が終了します。今学期も、子どもたち、教職員に対しましてご支援、ご協力をいただきましたこと、また、教育活動に対して多くの皆様からご協力いただきましたことに、教職員一同感謝申し上げます。また、環境ボランティア様、PTAの各種ボランティアの皆様、シルバーパトロール隊の皆様、町内会のパトロールの皆様には、環境、安全等で大変お世話になりました。おかげさまで、大きな事件、事故に遭うこともなく、2学期の学校生活が送れました。重ねて御礼申し上げます。

保護者の皆様、地域の皆様どうかよいお年をお迎えください。

東北小だより

平成22年1月11日号
新座市立東北小学校
児童数719名

教育目標「なかよく元気な子 よく考える子 すすんで働く子」

新しい年を迎えて

校長 藤山 孝敏

東北小学校のピオラやバンジー、水仙が色とりどりに咲いている中を、子どもたちがうれしそうに登校してきました。この冬休み、子どもたちが大きな事故、事件に遭わなかったことは私どもにとって何よりの喜びで、保護者、地域の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。新年にあたり、教職員一同より一層教育活動の充実に努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、本日より3学期が始まりました。この学期は、一年間の総まとめを行い、成長を振り返る大切な学期です。学習指導要領に示された各教科の授業時数を確保し、指導内容を充実していきます。しかし、3学期は授業日数が52日(6年生50日)と一番少なく、一時間、一時間を大切にしなければなりません。特に、6年生は中学生になる準備も含めた学期となります。各学年が、学習をしっかりと行い、行事等で体験を積む充実した日々にしていきます。

そのような中で、1月17日(月)の午前中は、「教育に関する3つの達成目標効果の検証」を行い、学習の成果を確認していきます。午後は、佐藤由香里教諭が道徳の研究授業を行います。1学期に櫻田舞教諭、2学期に城戸史子教諭、後藤優香教諭が研究授業を行い、今年度4回目となります。本校の道徳教育の重点目標を「生活習慣を大切にし、自分のよさを伸ばす子」「相手を思いやり、親切にする子」「命あるものを大切にする子」「きまりを守り、みんなのために働く子」の4つを掲げ、道徳の時間での授業を始めとして、全教育活動において子どもたちの道徳的実践力を培っています。なお、研究を進めていく中で、家庭との連携がいかに大切なことかを感じ、道徳教育だより「きずな」を発行しています。その中で、課題の一つとして、「言葉づかい」があがってきました。

さて、「言葉づかい」について、次のような文章を見つけました。子どもたちがよい言葉を身につけるには、大人がよい言葉を使わなければならない。なぜなら、子どもは小さいときから、聞いている言葉を使うためである。悪い言葉を直していくには敬語の使用が大切であると、書かれています。「(前文略)急に、親が自分の絶対語感を改良することはできない。どうすればよいのか。見通しは暗いといわなくてはならないが、努力の余地がないわけではない。比較的、年齢が高くなってから固まる敬語の絶対語感を、改造、改良するのである。ただ、まわりで、正しい敬語を使う人がすくないのが現状だから、とくに敬語に注意して生活するようにする。いまの家庭は、親子が友だちのようであるのが望ましいと考えられる。友だちは敬語を要しない関係である。こどもは家庭で敬語を身につけることができなくなってから、日本語は美しくなくなりはじめた。敬語の心は日本文化の中枢にはたらいっていることを考えて、家庭でも、できるだけ敬語を使うようにしたい。美しい日本語を使おうなどと叫んでいるだけでは、次の世代によいことばを伝えていくのは困難である。」(「絶対語感」の磨き方 外山滋比古)

この文章は、主として家庭のことが書いてありますが、家庭を学校、親を教師に置き換えると学校生活においても同様であると認識しております。

今学期も東北小学校の教育活動に対し、ご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

東北小だより

平成22年2月1日号
新座市立東北小学校
児童数719名

教育目標「なかよく元気な子 よく考える子 すすんで働く子」

道徳教育の成果

校長 藤山 孝敏

東北小学校の校庭では、子どもたちが目標達成のために、短縄跳びや長縄跳びをしています。また、先生たちと遊ぶ子どもたちの元気で明るい声が弾んでいます。

さて、本校は、「かかわり合い 絆を深め 子どもの心に響く 道徳教育をめざして」を研究主題に掲げ、道徳の研究を2年間続けてきました。今年度は、新たに家庭・地域と連携を図るために道徳教育だより「きずな」を2回発行しました。成果はすぐ表れるものではないと思っていましたが、子どもたちの変容が感じられる出来事がありましたので、ご紹介します。

まず、PTAから募集依頼のあった、「ありがとうの手紙」に435人が取り組んだことです。手紙の宛先は、父母、祖父、祖母、兄弟姉妹、家族、友だち、担任をはじめとして習い事などの先生、医師、給食調理員、栄養士、シルバーパトロール隊、環境ボランティア、農業支援員、ペット、持ち物、食べ物、自然など多岐にわたっていました。

また、そこには自分の思いや気持ち、感謝の言葉が綴られていました。

次に、子どもたちが善い行いをしたという手紙を頂戴したことです。手紙の内容は、次の通りです。「昨年12月、冬休みに入りたての頃だと思えます。東北2丁ロマンションの横の道で迷子になり、泣いて言葉も話せない女兒を4人の小学生がを見つけました。

通りがかった私や周囲の大人と協力し、4人は自転車に乗ったり、駆け足で周囲の搜索、警察に連絡したり、約1時間寒い中を捜査に協力してくれました。結果としては、様子を見にきた、迷子の幼い姉を小学生がを見つけ、家にいた父親に返すことができました。

4人の小学生の愛情と勇気ある機転のきいた行動に感心しました。名前を尋ねたら、恥ずかしそうに名前を言ってくれました。3年生菅野百恵さん、4年生菅野万里恵さん、長谷野美陽さん、牟田京香さんです。こんな嬉しいことを先生にお伝えするのに冬休みに入っていたため、すっかり遅くなってしまいました。我が家にも子どもがおり東北小学校を卒業し、社会人になっております。4人の小学生のような優しい子どもたちが今も変わらず育っていることを地域住民としても大変うれしく思います。」このように嬉しい内容の手紙を頂戴しました。ありがとうございました。

数か月前にも、公園で自転車の鍵を探してもらったというお礼の電話を頂戴しました。

この善行には、4年生男子と5年生男子の数人が関わっていることがわかり、全校朝会で紹介しました。学校に善い知らせが届くことは、教職員の喜びであり、道徳教育の研究の成果であると思っています。

結びに、暦の上での春は間近ですが、まだ、冷たく寒い日が続いています。インフルエンザにかからないためにも、「『まてよ ウイルス』で感染、発病予防」の標語を意識して予防に努めたいと思います。

この標語は、「ま」(マスク)、「て」(手洗い)、「よ」(予防接種)、「う」(うがい)、「い」(衣食)、「る」(部屋の温度・湿度)、「す」(睡眠・休養)という意味をもったものです。

保護者、地域の皆様、どうかお身体をご自愛ください。

東北小だより

平成23年3月1日号
新座市立東北小学校
児童数719名

学校関係者評価

校長 藤山 孝敏

東北小学校の校庭に辛夷が芽を出し、浅春の気候が訪れました。子どもたちの卒業、修了まで残り少ない日数となりました。さて、過日実施した「学校関係者評価」の集計がまとまりましたのでご報告します。

新座市では、全小中学校で学校関係者評価を行っており、学校関係者評価委員の皆様にも、18項目の質問に評価をしていただきました。本校教職員の評価と合わせてお知らせいたします。なお、Aは高い達成度、Bはおおむね基準に達している、Cは基準には達していない、Dはほとんど出来ていない、という評価になっています。

番号	質問項目	教職員	関係者
1	学校は、学校教育目標達成に向けて、組織的に運営し、特色ある学校づくりに取り組んでいる。	A	A
2	教職員は、自己評価シートと連鎖させ、学年・学級経営、教科経営や校務分掌にあたっている。	A	A
3	学校は、事故やトラブルに対してのマニュアルを作成・掲示し迅速に対応できる体制を整えている。	A	A
4	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	A	A
5	児童生徒は、落ち着いた状況の中で、学習内容を理解しようとしている。	B	A
6	児童生徒は、目的や内容に応じて自分の考えを明確に文章に書くことができる。	B	A
7	教職員は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A	A
8	学校は、学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	B	A
9	学校は、児童生徒が英会話に親しむことができるよう、教育課程特例校としての「英会話の時間」を推進している。	A	A
10	児童生徒は、友達や教職員。来校者に進んであいさつができる。	B	B
11	児童生徒は、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができる。	B	A
12	児童生徒は、いじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さを認めあって学校生活を送っている。	B	A
13	教職員は、自ら手本になるなど、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	A	A
14	児童生徒は、体方向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組んでいる。	B	A
15	学校は、栄養バランスのとれた規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	A	A
16	教職員は、PTA活動や地域活動に関心をもち、保護者・地域と連携協力している。	A	A
17	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について定期的に情報提供している。	A	A
18	学校は、保護者や地域と連携し、不審者対策のパトロールや声かけ運動など計画を立てて定期的に実施している。	A	A

学校関係者評価委員の皆様から、評価についてのご意見をいただきました。いくつかの項目についてお知らせいたします。2「教職員全体の一致した取り組みがよく見られる」、4「特に掲示教育に力を入れている状況が環境美化とあいまって、学校全体で取り組んでいる様子がよく見えている」のように、多くの項目は評価をいただきましたが、A評価をいただきながら、課題をいただいた項目があります。8「基本的原則的なルールが揃えられれば、尚一層効果が期待できると思う。」10「校内においては概ね良いと思うが、校外に出ると必ずしも進んであいさつが出来ているとは思えない。教師からのもう一步の指導が求められる。」12「表面上はあまり目立たないが、小さいいじめや意地悪があるのではないかと。教師の細かい注意力が更に必要と思われる。」13「教師が悪い指導をしているとは思わないが、不用意な言葉の受け答えはないのか、十分反省する余地はあると思う。」15「栄養職員だけでなく、担任からも食の大切さを十分に話して理解を深める指導が重要であると共に、家庭への指導にも力を入れるようにしてほしい。」16「多忙な中、教職員はなかなかPTA活動や地域活動に携わる暇がないと思うが、その分学級の役員さんと協力を一層高めて活動するようにしてほしい。」

このようなご意見をいただきましたが、課題として来年度へ引き継いでまいります。教育に関する3つの達成目標については、3月の最終号で報告いたします。保護者、地域の皆様におかれましては、まだまだ、寒い日々が続きますので、お身体をご自愛ください。

東北小だより

平成23年3月22日最終号
新座市立東北小学校
児童数719名

去る、3月11日に起きた東日本大震災の被害に遭われました人々に、心よりお見舞い申し上げます。

平成22年度終了にあたって

校長 藤山 孝敏

東北小学校の幸夷が6年生の卒業を祝うかのように、咲き始めました。

明日は、卒業証書授与式です。6年生は、歌が上手で下級生に優しい最上級生でした。これからのさらなる活躍を祈念しています。

過日行われた「6年生を送る会」は、下級生たちの心がこもった温かく和やかなひと時になり、より絆を深めることができました。また、下級生は、6年生の素晴らしい合唱と合奏をあこがれと尊敬の念を抱きながら聴き入っていました。

6年生の皆さん、卒業おめでとうございます。家族の思いや願いが込められた自分の名前に誇りを持ち、東北小学校の卒業生という自信を持って中学校生活を送ってください。在校生の皆さん、この1年間で大きく成長し、一学年進級します。皆さんの良い面を伸ばし、成長してほしいと願っています。特に5年生の皆さん、4月からは最上級生です。伝統を引き継ぎ、頼もしいリーダーになりさらによい東北小学校にしていきましょう。皆さんならきっとできると思います。

保護者の皆様、PTA役員の皆様、地域の皆様、貴重な時間と労を、東北小学校のために捧げてくださり感謝申し上げます。子どもたちは、シルバーパトロール隊、地域防犯パトロールの皆様、PTAでの校内見回りなど、多くの方々のご尽力とご協力のおかげで大きな事故、事件に遭うこともなく25日の修了式を迎えようとしております。

重ねて、本年度の教育活動も円滑に推進することができましたことに、深く感謝し御礼申し上げます。今後とも、卒業する子どもたち、進級する子どもたちに、地域で温かな一声をかけていただければ幸いです。来年度も何とぞよろしくお願い申し上げます。

「教育に関する3つの達成目標」の結果について報告いたします。

「学力」については、「読む・書く」・「計算」とともに目標の達成率を90%以上としました。「読む・書く」ですが、全校の達成率は94.9%で昨年の92.1%を上回っています。また、4・5・6年生の「漢字」は過去90%を下回っていましたが、今回は96%を上回っています。学校の平均も96.9%となりました。そして、「書くこと」は、過去3年間全校の達成率が88.8%で90%に達していませんでしたが、今回は、90%以上の達成率となりました。90%を下回っているのは、5・6年生の「読むこと」、6年生の「書くこと」が83～89%の達成率となっています。「読むこと」・「書くこと」の指導を続けていきます。

次に「計算」ですが、全校の達成率は93.4%で昨年の92.4%を上回っています。90%を下回っているのは、2年生の「日常生活等の内容」が85.2%(昨年は85.1%)、5年生の「数の広がり」「数の計算」「日常生活等の内容」が84～87%の達成率となっています。6年生の「数の計算」は、89.1%(昨年は84.1%)の達成率でした。「日常生活等の内容」はさらに指導を工夫していきます。

「規律ある態度」については、目標の達成率を80%以上としました。多くの項目は、80%を上回っています。全校共通で目標を達成した項目は、「時刻を守る」の94.8%(昨年92.8%)で、全校共通で目標を下回っているのは、「身の回りの整理整頓」の78.8%(昨年71.4%)と、「学習準備」の70.6%(昨年67.6%)の2項目です。引き続き取り組んでいきます。なお、「丁寧な言葉遣い・やさしい言葉遣い」が学年の達成率に差があるものの、全校で80%以上の達成率となったのは、喜びです。

それぞれの学年で80%を下回ったものは、1年生が「整理整頓」「学習準備」「丁寧な言葉遣い」の3項目。2年生は、「整理整頓」「学習準備」「靴そろえ」「集団の場での態度」の4項目。4年生は「学習準備」の1項目。6年生は、「整理整頓」「学習準備」「あいさつ」「返事」「丁寧な言葉遣い」「やさしい言葉遣い」「話を聞き発表する」の7項目となっています。なお、3年生と5年生は、すべての項目で80%以上で目標とする達成率となりました。本来ならば学年があがるにしたがつて身に付いていくと思われる目標ですが、意識していかなければ、身に付いていかないものです。今年度の重点課題の一つでありました、

「掃除・美化活動」は、93.9%(昨年は87.9%)と高い達成率となりました。これからも継続して取り組んでいきたいと思えます。さらに、今年度同様、「身の回りの整理整頓」や「学習のきまりを守る」について力を入れて取り組んでまいります。なお、「丁寧な言葉遣いを身につける」は、毎年達成率は上がっていますが、さらに指導し、達成率を上げるために、家庭と連携しながら進めていきたいと思えますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。